# 漢方関係学会・研究会予定（6月）

**●第54回薬用植物観察会**（日漢協薬用植物観察分科会）
日　時　6月1日（日）午前10時～午後5時半
集合場所　西武狭山線・下山口駅
内　容　ラン科の植物、ナラ・クヌギ等の植物相の全体像を狭山丘陵地で観察
申込み　昌平堂薬局：笠原民子ＦＡＸ０４６３・２４・５４４０

**●第68回千葉大学東洋医学自由講座**
日　時　6月5日（木）、19日（木）午後6時～7時半
会　場　千葉大学医学部附属病院3階第2講堂（千葉市中央区亥鼻）
内　容　5日：入門講座・五臓論（岡本英輝）、19日：入門講座・六病位：陽病（並木隆雄）
問合せ　横山由奈 chiba_touiken@yahoo.co.jp

**●第21回東京漢方教育研究センター6月講座**
日　時　6月8日（日）午前10時半～午後5時
会　場　早稲田大学国際会議場3Ｆ会議室（新宿区西早稲田）
内　容　漢方の初歩：風邪弁証（石原タツ）、生薬解説：山梔子・十薬（秋葉秀一郎）、処方解説：加味逍遥散（外山博視）、症例報告と解説（二宮理摩・西山昭弘）、望聞診と病態（中川智代）
事務局　座間市東原3-3-33外山博視ＦＡＸ０４６・２５６・３９２５

**●漢方セミナー無門塾第19期6月講座**
日　時　6月8日（日）午後1時～5時
会　場　北里大学薬学部1号館5Ｆ（港区白金5-9-1）
内　容　登録販売業と漢方治療（有賀昌之）、薬徴提要（鈴木寛彦）、比較傷寒論（田畑隆一郎）、漢方処方応用の実際（蓮村幸兌）
事務局　静岡市葵区東草深町22-1むつごろう薬局静岡店・鈴木寛彦
☎０５４・２４７・６００６

**●第41期東海漢方協議会6月講座**
日　時　6月8日（日）午前10時半～午後5時
会　場　名城大学薬学部新1号館3Ｆ（名古屋市天白区八事山）
内　容　漢方基礎：気血津液（林　誠二）、漢方処方選定の実際（奥村裕一）、古典の解説・傷寒論（太田順康）、初心者の為の重要漢方処方解説（伊藤晴夫）
事務局　名古屋市千種区松軒1-5-12大晃生薬 ☎０５２・７２２・２２０５

**●近畿鍼灸漢方研究会6月例会**
日　時　6月8日（日）午前10時～午後5時
会　場　大阪国際交流センター1会議室（近鉄上六終点より徒歩5分）
内　容　梅雨の病を漢方医学での療法を語る（西脇平士）、脈経5（中　雅哉）、梅雨の季節の鍼灸治療の実技（堀川　功）、一般用漢方製剤の使い方（山口導則）ほか
事務局　大阪市住吉区山之内3-3-2漢方山之内薬局・西脇平士
☎０６・６６９２・１００２

**●広島漢方研究会6月定例会**
日　時　6月8日（日）午前9時半～午後4時半
会　場　広島県薬剤師会館（広島市中区富士見町）
内　容　若い方でも起こる「腎虚」の症状～地黄丸類（小林　宏）、大塚敬節著『漢方診療三十年』解説：清上防風湯（吉本悟）、『勿誤薬室方函口訣』解説：大保元湯（山崎正寿）、六

味丸の処方解説と製剤実習（木原敦司・佐々木伸忠）
事務局　広島県安芸郡府中町茂陰1-3-12 薬王堂漢方薬局・吉本悟 ☎082・285・3395　HP：広島漢方研究会

**●平成26年度薬局漢方研究会6月講座**
日　時　6月11日（水）午後1時～5時
会　場　ポルタ神楽坂7F（新宿区神楽坂2-6）
内　容　和剤局方出典の処方応用：藿香正気散（上田光一）、類似方剤との鑑別：店頭での応用の実際：連珠飲（田村哲彦）
連絡先　東京都中央区日本橋本町1-6-1 小太郎漢方製薬東京支店薬専課・森 ☎0120・32・1193

**●平成26年度漢方医学講座6月基礎講座**（主催：日本漢方医学研究所）
日　時　6月12日（木）午後7時～8時半
会　場　東京八重洲ホール（中央区日本橋3-4-13）
内　容　漢方薬の使い方・循環器（矢久保修嗣）
事務局　東京都千代田区平河町1-3-7 アルタ平河町ビル601 日本漢方医学研究所 ☎03・6261・2413

**●日中医薬研究会関西支部6月月例研究会**
日　時　6月14日（土）午後1時～15日（日）午後5時
会　場　メルパルク京都（京都市下京区東塩小路町676）
内　容　平成薬証論解説：蠐螬及び生薬の鑑別、繁用処方解説：「腎」について、『皇漢医学』：桂枝甘草湯、ビデオ研修：抜粋方輿輗：防已黄耆湯、金匱要略：黄疸病の脈証、基礎講座：「脂肪」について（田中英樹ほか）
事務局　三重県名張市榊町1401-1 田中余以徳斉薬局 ☎0595・63・0238

**●織部塾6月講座**
日　時　6月14日（土）午後7時～9時
会　場　大分市コンパルホール3F
内　容　中薬学と薬徴より（渕野貴弘）、『叢桂亭医事小言』解説（織部和宏）、『井観医言』問題集（山下太郎）、塾生発表
連絡先　大分市大手町2-1-15 織部内科クリニック ☎097・536・1525

**●平成26年度日漢協漢方総合講座6月講座**（主催：日本漢方協会）
日　時　6月15日（日）午前10時20分～午後4時15分
会　場　慶應義塾大学薬学部芝共立キャンパス（港区芝公園1-5）
内　容　基礎漢方講座：漢方の考え方・三陰・三陽（渡辺方乃）、漢方生薬概論：薬性・薬味（小根山隆祥）、傷寒論講義：太陽病中（秋葉哲生）、漢方治療の実際：皮膚疾患（山田享弘）
事務局　東京都荒川区東日暮里4-4-10 ㈱ウチダ和漢薬内 ☎・FAX03・3805・9140

**●漢方三考塾6月講座**
日　時　6月15日（日）午前9時半～午後4時半
会　場　主婦会館プラザエフ（東京四谷駅前・千代田区六番町15）
内　容　金匱要略も読もう（高山宏世）、漢方臨床の実践5-皮膚病-（蓮村幸兌）、本草備要を読む 薬性聰義8（千田五月）
連絡先　東京都新宿区赤城元町2番4号 漢方三考塾（神楽坂漢方有恒薬局内）FAX03・3269・8981 ☎03・3266・1955

**●第12期系統中医学講座**
日　時　6月15日（日）午前9時半～午後4時半
会　場　EPSアソシエイト（文京区後楽2・TL飯田橋ビル6F）
内　容　弁証・症例分析編：四診の技術・望診／発汗異常など、生理・病態・治療編：小児の特性と疾患／加齢変化など（仙頭正四郎）

事務局　小太郎漢方製薬㈱東京支店医専課 ☎03・3231・2340

**●第24期京都漢方研究会6月講座**

日　時　6月15日（日）午前10時〜午後4時

会　場　京都薬科大学愛学館「愛学ホール」（京都市山科区）

内　容　基礎：漢方医学の診断学・各論（三谷和男）、漢方製剤が有効だった症例（鉄村　努）、話題の臨床漢方：婦人科編（後山尚久）

事務局　京都市左京区吉田下阿達町36カキノキ薬局内 FAX 075・771・7534

**●柿田塾6月度定例会**

日　時　6月15日（日）午前9時半〜12時

会　場　大阪・ドーンセンター

内　容　柿田流切診講義（沖　胡操）、柿田流問診講義（城田吉彦）、正邪脈診法の理論と実践、接触鍼の実践（柿田秀明）

事務局　淡路市志筑1138−6 おのころ治療院内 ☎0799・62・0990

**●温知会6月講義**

日　時　6月21日（土）午後6時〜8時半

会　場　湯島聖堂：斯文会（文京区湯島1−4、御茶の水駅至近）

内　容　『医方集解』：清暑益気湯（粂川義雄）、生薬：葛根（大坪素子）、『漢方処方解説』（杉山友彦）、自由演題（真柳　誠）

事務局　東京都北区西ヶ原4−48−6 大貫　進 ☎03・3910・4822

**●第86回葉天士医案研究会**

日　時　6月22日（日）午後1時半〜5時

会　場　愛知県産業労働センター13F（名古屋市中村区名駅4−4）

内　容　「臨証指南医案」解説：心痛・胃脘痛1（金子幸夫）

事務局　名古屋市中区松原1−15−18 小太郎漢方製薬名古屋営業所・高尾孝信 ☎052・323・6911

**●横浜漢方塾6月講座**

日　時　6月26日（木）午後7時半〜9時

会　場　TKP横浜駅西口カンファレンスセンターBF2

内　容　大塚敬節著『漢方診療三十年』講義、腹診実技（森　由雄）

事務局　横浜市港北区新横浜3−1−9 ㈱ツムラ横浜第一営業所・高安夏輝 ☎045・471・3971

（以上　敬称略）

## 第65回　日本東洋医学会学術総会
## 主要プログラム

日　時　6月27日（金）正午〜6時半
　　　　6月28日（土）午前8時半〜午後5時55分
　　　　6月29日（日）午前8時半〜午後3時半

会　場　東京国際フォーラム（有楽町駅前）

内　容　**6月27日（金）正午〜6時半**

［伝統医学臨床セミナー］　座長：稲木一元・杵渕　彰

「診療のこつ：ここがポイント　ベテラン医師に聞く」

診療のこつ　松田　邦夫
「診療のこつ」ここがポイント　二宮　文乃
再び甘麦大棗湯について　中川　良隆
アートも立派なＥＢＭだった　本間　行彦

## サテライトシンポジウム

〔サテライトシンポジウム１〕共催：クラシエ薬品(株)
「こんな時には漢方を―私自身が感動した症例―」
コーディネーター：寺澤捷年　シンポジスト：津田篤太郎・下手公一・吉木伸子・木村豪雄・星野惠津夫

〔サテライトシンポジウム２〕共催：(株)ツムラ
第30回臨床東洋医学研究会「漢方のこれから～新たな治療学を拓く～」
臨床東洋医学研究会の歴史　佐藤　弘
機能性消化管障害における東洋医学的アプローチ　松枝　啓
漢方独特の治療機転を考える～興味ある自験例から～　松田　邦夫
「醫界之鐵椎」から100年～東西医学の変遷～　秋葉　哲生

## 内容　6月28日（土）午前8時半～午後5時55分

〔会頭講演〕座長：嶋田　豊
「治るということ」「治すということ」～人間的な医学・医療を求めて　佐藤　弘

〔特別講演１〕座長：佐藤　弘
身心不二の叡智　玄侑　宗久

〔教育講演１〕座長：杵渕　彰
科学の彼方にあるもの　宗教の存在意義　島薗　進

〔日本東洋医学会学術賞受賞講演〕座長：石川友章
古典の重要性　稲木　一元

〔シンポジウム２〕座長：土方康世
「症例から見る日本漢方と中医理論の接点」
『蕉窓雑話』にみる日本漢方、臓腑弁証、五行理論　土方　康世
症例から考える日本漢方と中医学の接点　菅沼　栄
十四年間持続した不明熱の一例　金子　幸夫
証を察するということ　峯　尚志
後世方は何故わかりにくいのか？　古方・中医学と共通性をみつけ語り合う　矢数　芳英

〔シンポジウム３〕座長：形井秀一
「日本鍼灸の特徴」
日本鍼灸の特徴―日本鍼灸の特徴の概観―　形井　秀一
古典的鍼灸と現代医学的鍼灸の折衷　篠原　昭二
日本鍼灸の特徴　戸ヶ崎正男
日本の灸の現状と特徴　松本　毅

〔シンポジウム４〕座長：渡辺賢治・川原信夫
「生薬資源確保の諸問題」（抜粋）
我が国に於ける生薬生産の課題　金井　藤雄
国産オタネニンジンの復活を目指す栽培研究の最前線　渡辺　均
国産生薬振興のための課題と展望　加藤　一郎

## 内容

〔ワークショップ1〕　座長：林　明宗

「癌領域における漢方治療の役割」(抜粋)

がん患者の漢方治療の全体像　癌証、瘀血、腎虚、冷えの重要性とその治療法　星野恵津夫

漢方経絡免疫療法による癌・内腫の再発予防と末期癌の治療　渡邊　一幹

基礎研究から考える癌治療における漢方薬の可能性～癌と瘀血の関係～　日向須美子

〔ワークショップ2〕　座長：花輪壽彦

「難渋した症例」(抜粋)

脳挫傷後の中枢性疼痛、嗅覚障害に対する漢方治療の経験　野上　達也

漢方治療に難渋した挙児希望患者への治療経験　並木　隆雄

難渋した症例　村松　慎一

四逆散が著効した頭痛の症例　鈴木　邦彦

漢方治療が奏効した難治性のPMS、骨盤内疼痛を伴う発熱に関する一考察　清水　正彦

〔ワークショップ3〕　座長：小菅孝明

「心身一如が効を奏した症例」(抜粋)

気血水の流れを改善して妊娠に至った症例　寺師　碩甫

精神症状を伴う下痢に加味帰脾湯が奏効した二例　喜多　敏明

〔Basic seminar〕(抜粋)

漢方医学総論：漢方医学を実践することの意義を考える　秋葉　哲生

医史学―日中伝統医学略史　小曽戸　洋

呼吸器疾患に対する漢方治療　伊藤　隆

漢方薬はどう効くのか、なぜ効くのか　田代　眞一

消化器疾患の漢方治療　及川　哲郎

神経内科：すぐに役立つ漢方の知恵　寺澤　捷年

皮膚疾患の漢方治療　荒浪　暁彦

外科一般：がん診療における漢方治療　今津　嘉宏

**6月29日(日)　午前8時半～午後3時半**

〔特別講演2〕　座長：佐藤　弘

それは祈りから始まった　岩田　誠

〔教育講演2〕　座長：伊藤　隆

米国における補完代替医療の現状　安西　英雄

〔教育講演3〕　座長：杵渕　彰

新しい精神科疾患の分類と漢方　神庭　重信

〔シンポジウム5〕　座長：大野修嗣

「リウマチ・膠原病の漢方治療最前線」(抜粋)

古典理論からみたリウマチ・膠原病疾患　加島　雅之

リウマチ性多発筋痛症に対する漢方治療　引網　宏彰

RAに対する臨床応用　小暮　敏明

〔シンポジウム6〕　座長：二宮文乃

「全人的にみた皮膚科治療」(抜粋)

心に作用する漢方薬について　荒浪　暁彦

全人的にみた皮膚科治療―肝と皮膚疾患―　桜井みち代

〔シンポジウム7〕　座長：石毛　敦

「基礎と臨床の溝を埋める」(抜粋)

十全大補湯とはいかなる薬か　秋葉　哲生
エビデンスによる効果の客観化　済木　育夫
基礎研究の結果を臨床に応用する～十全大補湯と
　桂枝茯苓丸を例に～　地野　充時
腸内環境を整える漢方薬（十全大補湯）　石毛　敦

〔ワークショップ4〕　座長：伊藤　剛・蛯子慶三
「湯液と鍼灸の併用を考える」（抜粋）
現代医療における湯液と鍼灸の併用の意義　伊藤　剛
鍼灸師の立場から考える湯液と鍼灸の併用について
　蛯子　慶三
湯液と鍼灸診療の協調に向けた試み　三潴　忠道

〔ワークショップ5〕　座長：盛岡頼子
沼津の地域医療における漢方治療の役割　田澤　寛子
中山間地の地域医療における漢方　岡部　竜吾
陸前高田市の状況　溝部　宏毅

〔Basic seminar〕（抜粋）
婦人科：女性の病気は月経を調えて　石野　尚吾
精神科領域における漢方治療　山田　和男
内分泌代謝領域の漢方治療　福澤　素子
小児における漢方治療　和田恵美子

## ランチョンセミナー（抜粋）

日　時　6月28日（土）12時15分～13時15分

・ランチョンセミナー1
内　容　寺師睦宗先生と漢方三考塾　髙山宏世・原田康治
共　催　（株）ツムラ

・ランチョンセミナー2　座長：三村　将
内　容　アルツハイマー型認知症の新たな診断　宮澤　仁朗
共　催　クラシエ薬品（株）

・ランチョンセミナー3　座長：堀口　淳
内　容　漢方で治るうつ・治らないうつ　山田　和男
共　催　持田製薬（株）

・ランチョンセミナー4　座長：小髙修司
内　容　平成日本の養生（温い麦酒を飲みましょう）　中田　薫
共　催　大杉製薬（株）

・ランチョンセミナー5　座長：花輪壽彦
日　時　6月29日（日）12時15分～13時15分
内　容　認知症への漢方薬の可能性―治療現場から―　関　隆志
共　催　小太郎漢方製薬（株）

・ランチョンセミナー6　座長：山田和男
内　容　認知症診療を考える　小阪　憲司
共　催　エーザイ（株）

●懇親会　6月28日（土）午後6時より東京国際フォーラムB7

運営事務局　（株）コンベンションリンケージ　東京都千代田区三番町2三番KSビル　☎03・3263・8688